

各種委員会活動報告

広報委員会

委員長 染矢 聡 (産業技術総合研究所)
幹事 片岡 秀文 (大阪府立大学)

1. 委員会構成

委員長：染矢 聡³ (産業技術総合研究所) 幹事：片岡 秀文³ (大阪府立大学)
委員 (継続)
福留 功二² (立命館大学) 富樫 憲一² (北海道立総合研究機構)
委員
江目 宏樹¹ (山形大学) 早川 晃弘¹ (東北大学)
福江 高志¹ (岩手大学) 大徳 忠史¹ (秋田県立大学)

2. 委員会開催報告

2. 1 メール審議 (～3月23日)

- ・ニュースレター82号, 83号, 84号発行のための打ち合わせ
- ・次期体制および引継ぎについて
- ・特にニュースレター関連作業(WEB, TED Plaza 原稿収集, 書式統合, 校正, その他の記事の収集管理等)の作業分担について, 多くのメール審議を行った。

2. 2 第1回広報委員会 (第94期&95期合同委員会)

日時・場所 平成29年4月16日(日), 岩手大学

議題：引継, 第95期活動計画確認, ニュースレターNo.82～84について。

ニュースレターの定期的な月初発行を定着させるため, 年間の作業スケジュールを詳細に議論。ニュースレター関連作業(WEB, TED Plaza 原稿収集, 書式統合, 校正, その他の記事の収集管理等)の作業分担や TED Plaza 特集記事の候補について, 1年分の詳細を決定した。

2. 2 第2回広報委員会 (第95期&96期合同委員会)

日時・場所 平成30年3月19日(月), JSME 会議室および JSME Web 会議システム

議題：引継, 第96期活動計画, ニュースレターNo.85～87について。

NL85は新体制初の発行であるが, 9月発行のためには4月に執筆依頼等を完了することが望ましいため詳細に議論した。加えて, 年間の詳細作業スケジュールについて議論。ニュースレター関連作業(WEB, TED Plaza 原稿収集, 書式統合, 校正, その他の記事の収集管理等)の作業分担や TED Plaza 特集記事の候補について, 1年分の詳細を検討。

3. 活動報告

3. 1 ニュースレター発行

部門ニュースレターの No.82(9月号), No.83(12月号)を9/1, 12/1に配信しHPにて公開済み。
No.84(4月号)は, 各委員会活動報告, 部門長挨拶以外を2月末で作成終了。4/1発行予定。各号担当者は, No.82: 富樫委員, 福江委員, No.83: 福留委員, 江目委員, No.84: 早川委員, 大徳委員。

3. 2 部門ホームページの更新・維持管理

部門ホームページのコンテンツを常時、最新の情報に更新。部門の概要、委員長挨拶、委員会名簿、行事予定、部門賞、新着情報掲載等の項目の維持管理を行った。

3. 3 インフォメーションメール

学会インフォメーションメールによる情報配信を行った。IM 配信権限は、部門長、部門幹事、広報委員長が持っている。2017年度4～10月（4/7～10/17）の熱工学部門登録者向け配信数は46件。10～2月末までの配信件数は24件。

4. 96期委員会構成

96期広報委員会を以下のメンバーで構成することとした。

委員長：西 美奈¹（電力中央研究所） 幹事：大徳 忠史²（秋田県立大学）
 委員（継続）
 江目 宏樹²（山形大学） 早川 晃弘²（東北大学） 福江 高志²（岩手大学），
 委員
 松岡 常吉¹（豊橋技術科学大学） 岸本 将史¹（京都大学） 李 艶栄¹（茨城大学）

配信日	配信元組織	配信先組織	タイトル
2018/2/27	動力エネルギーシステム	流体工学，熱工学，エンジンシステム，環境工学	【3/9に締切延長】第23回動力・エネルギー技術シンポジウム講演募集
2018/2/27	エンジンシステム	流体工学，熱工学，動力エネルギーシステム，環境工学	3/15締切（国際スターリングエンジン会議2018アブストラクト）
2018/2/16	環境工学	流体工学，熱工学，動力エネルギーシステム，機械力学・計測制御	【締切延長：2月28日】No.18-10第28回環境工学総合シンポジウム2018講演申込
2018/2/15	設計工学・システム	材料力学，流体工学，熱工学，機械力学・計測制御	No.18-25 講習会「1DCAE実践講座（1DCAEスクール）第1回（H30年度）」
2018/1/29	環境工学	熱工学，動力エネルギーシステム	「第31回環境工学連合講演会」開催のご案内
2018/1/27	熱工学	熱工学	CREST・さがけ「相界面」研究領域 公開シンポジウム（第4回）のご案内
2018/1/27	熱工学	熱工学，流体工学，動力エネルギーシステム，環境工学	HYDROGENIUS and I2CNER Joint Research Symposium 開催のご案内
2018/1/27	熱工学	熱工学，流体工学，動力エネルギーシステム，環境工学	I2CNER アニュアルシンポジウム2018 開催のご案内
2018/1/26	熱工学	熱工学，計算力学，バイオエンジニアリング，流体工学，ロボティクス・メカトロニクス	第3回理論応用力学シンポジウムのご案内
2018/1/25	熱工学	熱工学，流体工学	国際会議ISTP29開催のご案内
2018/1/23	動力エネルギーシステム	流体工学，熱工学，エンジンシステム，環境工学	動エネシンポ講演申込み受付開始のご案内【締切：2/23(金)】
2018/1/23	環境工学	流体工学，熱工学，動力エネルギーシステム，機械力学・計測制御	No.18-10 第28回環境工学総合シンポジウム2018 講演申込開始のご案内
2017/12/21	環境工学	流体工学，熱工学，動力エネルギーシステム，宇宙工学	空気調和・冷凍連合講演会 講演募集のお知らせ
2017/12/7	熱工学	熱工学，流体工学，動力エネルギーシステム	第10回沸騰凝縮伝熱国際会議（2018年3月，長崎）事前登録期間延長のご...
2017/12/5	流体工学	計算力学，熱工学，動力エネルギーシステム，環境工学	講習会『工学とインフォマティクス～最適化からビックデータ活用まで～...
2017/12/4	環境工学	流体工学，熱工学，動力エネルギーシステム，機械力学・計測制御	JSME講習会 No.17-155「デシカント空調システムの基礎理論と最新技術」...
2017/12/1	熱工学	熱工学	熱工学部門ニュースレターNo.83発行
2017/11/28	設計工学・システム	材料力学，流体工学，熱工学，機械力学・計測制御	第十弾記念講習会「1DCAE概念に基づくものづくり設計教育（第十弾）：基...
2017/11/27	環境工学	流体工学，熱工学，動力エネルギーシステム，機械力学・計測制御	No.17-153「あいかわ再生可能エネルギーと次世代エネルギー施設」の見...
2017/11/22	エンジンシステム	熱工学，動力エネルギーシステム	講習会No. 17-144「エンジン開発におけるCAEと最新の導入モデル」開催...
2017/11/6	設計工学・システム	材料力学，流体工学，熱工学，機械力学・計測制御	No.17-113 第十弾記念講習会「1DCAE概念に基づくものづくり設計教育（第...
2017/11/4	流体工学	計算力学，熱工学，動力エネルギーシステム，環境工学	講習会『工学とインフォマティクス～最適化からビックデータ活用まで～...
2017/11/1	動力エネルギーシステム	機械材料・材料加工，流体工学，熱工学，機械力学・計測制御	【アブストラクト締切：11/30】ICONE-26講演募集のご案内
2017/10/30	熱工学	熱工学，流体工学，動力エネルギーシステム	第10回沸騰凝縮伝熱国際会議（2018年3月，長崎）学会参加登録ページ開...

部門賞委員会

委員長 宗像 鉄雄 (産業技術総合研究所)
幹事 林 潤 (京都大学)

構成員：宗像 鉄雄 (委員長), 藤田 修 (部門長), 花村 克悟 (前部門長),
林 潤 (委員会幹事), 小宮 敦樹 (前委員会幹事, オブザーバー)

1. 委員会の開催

第1回部門賞委員会

日時：平成29年5月19日(金) 14:30～15:00

場所：キャンパスイノベーションセンター(田町)7階710会議室

議事：委員会の年間予定・推薦手続きの確認

第2回部門賞委員会

日時：平成29年7月14日(金) 13:30～15:00

場所：キャンパスイノベーションセンター(田町)7階710会議室

議事：フェロー候補者の選考, 部門賞・部門一般表彰候補者募集案内,
若手優秀講演フェロー賞の推薦依頼

第3回部門賞委員会

日時：平成29年10月13日(金) 13:00～15:00

場所：キャンパスイノベーションセンター(田町)7階710会議室

議事：部門賞・部門一般表彰, 貢献表彰候補者の選考

第4回部門賞委員会

日時：平成30年2月2日(金) 13:00～15:00

場所：東京工業大学 大岡山キャンパス EEI棟4階411会議室

議事：部門賞, 部門一般表彰(貢献表彰), 若手優秀講演フェロー賞および講演論文表彰の
内定

2. フェロー候補者の推薦(学会への提出締切り9月22日)

- (1) フェロー候補者の推薦について, 今期は熱工学部門のフェロー組織推薦定数は2名であること, 組織推薦定数を超えた推薦は一般推薦枠として審議されることを確認した. その結果から, 部門推薦定数2名に加えて, 一般推薦枠として2名, 合計4名を推薦することを決定した.
- (2) 前期の候補者をふまえて, 委員長と幹事は約55名の候補者リストを作成(6月末).
- (3) 幹事はそのリストを(幹事を除く)3名の部門賞委員会委員に送り, 委員には「そのリストから, あるいはリスト外から委員推薦の候補者を選び, 幹事宛に投票するように」依頼した.
- (4) 幹事は投票結果を集計し, その結果をもとに第2回部門賞委員会において, 部門推薦定数2名と一般推薦定数2名を審議・決定した後, 第2回総務委員会において諮った(7月14日).
- (5) 幹事より, 総務委員会で同意が得られた推薦候補者に, 部門・一般推薦の候補者となっただくように依頼(候補者に推薦書を書いていただく)した(8～9月).
- (6) 委員長・部門長・幹事は, 最終的に推薦書を取りまとめ, 学会本部に推薦書を送付した(9月20日).
- (7) 機械学会事務局より9月22日に受領の連絡が部門長宛になされた.

3. 部門賞, 部門一般表彰候補者の推薦

- (1) 運営委員会構成員には第1回運営委員会にて推薦を依頼. 8月に部門ホームページに推薦書類を掲載. また, 同時にインフォメーションメールで部門登録会員全員に推薦依頼(締切りは9月22日).
- (2) 第3回部門賞委員会で部門賞・部門一般表彰候補者の策定を行った.
- (3) 第4回部門賞委員会(2018年2月2日)で候補者を内定, 第4回総務委員会に附議し, 了承された.
- (4) 運営委員会に代行運営委員会(メール審議)として附議し, 承認を受けた. 学会理事会に報告(3月末日).
- (5) 部門賞候補者の推薦代表者を通じて連絡を行う(部門賞委員会委員長名にて). 幹事は候補者に推薦書の最終確認およびHP用写真の送付を依頼する.
- (6) 写真の入手後, 部門HPで公表予定(平成27年度からは熱工学コンファレンス開催を待つことなく公開可とした). 贈賞は平成30年10月末に開催される熱工学コンファレンス(富山)にて実施の予定.
- (7) 永年功績賞等受賞者のうち常勤職を退職されている等の方々に対しては, 授賞式出席のための旅費を部門から支出予定.

4. 若手優秀講演フェロー賞候補者の推薦

- (1) 第93期より国内会議に対して講演論文表彰が審査外となったため, 若手優秀講演フェロー賞推薦に関して, 年次大会(埼玉大学)の委員長に推薦を依頼した(それぞれ8月下旬). なお, 依頼時に「評価プロセス手順」「評価フォーム」を併せて送付し, 年次大会については「部門横断セッション」での評価対象とする発表を事前に検討・選定してもらうように依頼した.
- (2) TFEC-9は国際会議であるため, 講演論文表彰の対象となることから, 若手優秀講演フェロー賞の選出に加えて, 講演論文表彰の選出を委員長およびSecretary General宛に依頼を行なった(9月-10月). その際, 流体工学部門における贈賞との競合を避けるために, 事前に流体工学部門との情報共有を行った. なお, 熱工学部門の賞選出については, 選出の有無も含めて委員長に一任することとした.
- (3) 運営委員会に代行運営委員会(メール審議)として附議し承認を受けた. 学会理事会に報告(3月末日). 部門HPに公表予定(本件も早めの公開とする). 贈賞は平成30年10月末に開催される熱工学コンファレンス(富山)にて実施の予定.

5. 部門賞・部門一般表彰・若手優秀講演フェロー賞および講演論文表彰

●部門賞(5件)

- ・永年功績賞 牧野 俊郎(京都大学・名誉教授)
- ・国際功績賞 高田 保之(九州大学・教授)
- ・研究功績賞 田川 正人(名古屋工業大学・教授)
- ・技術功績賞 齋川 路之(一般財団法人電力中央研究所・首席研究員)
- ・業績賞 鹿園 直毅(東京大学・教授)

●部門一般表彰(計6件)

- ・貢献表彰 齊藤 卓志(東京工業大学・准教授)
- ・貢献表彰 深湯 康二(慶應義塾大学・教授)

・講演論文表彰(Certificate of Merit for Thermal Engineering Best Paper)(4件)

- ①講演題目: Controlled phonon transport by silicon nanocrystals and polystyrene hybrid Thin films
研究者氏名: Firman B. Juangsa (Tokyo Institute of Technology), Yoshiki Muroya, Yuma Tanabe, Tomohiro Nozaki

②講演題目 : Effects of pressure on combustion characteristics of ammonia/air premixed turbulent flames in swirling flows

研究者氏名 : Akihiro Hayakawa (Tohoku University), Yoshiyuki Arakawa, K.D. Kunkuma A. Somarathne, Taku Kudo, Hideaki Kobayashi

③講演題目 : Wavelength-selective Absorber and Emitter Based on a Magnetic Polariton

研究者氏名 : Atsushi Sakurai (Niigata University), Yuki Matsuno

④講演題目 : Development of Micro Fluidic System for High-Speed Diffusion Measurement

研究者氏名 : Makoto Kamata(Keio University), Kan Yamada, Yoshihiro Taguchi, Yuji Nagasaka

●**若手優秀講演フェロー賞 (計5件)** (○印が受賞対象者)

■2017年度年次大会 (2件)

① 講演題目 : 熱泳動現象を応用した水分子同位体分離システムの構築

研究者氏名 : ○宮本 隼佑 (東海大学), 喜多 理王, 木村 啓志

② 講演題目 : 印刷用紙の含水率による熱伝導率のへ影響に関する基礎的研究

研究者氏名 : ○佐藤 功治 (岩手大学), 廣瀬 宏一, 寺尾 博年, 福江 高志, 和宇慶 知子, 星野 久

■TFEC9 (2件)

① 講演題目 : A Fractal Dynamic SGS Combustion Model for LES of Turbulent Premixed Flames under a Pressure Rising Condition

研究者氏名 : ○Rie Yamada(Tokyo Institute of Technology), Yuzuru Nada, Basmil Yenerdag, Yuki Minamoto, Masayasu Shimura, Mamoru Tanahashi

② 講演題目 : Investigation of Low Temperature Oxidation using a Separated Steady Cool flame of n-Heptane/air mixture in a Micro Flow Reactor with a Controlled Temperature Profile

研究者氏名 : ○Ryota Tatsumi (Tohoku University), Hisashi Nakamura, Susumu Hasegawa, Takuya Tezuka, Kaoru Maruta

学会賞委員会

委員長 赤松 史光 (大阪大学)
 幹事 津島 将司 (大阪大学)

1. 選考方法

- 1) これまで同様に、推薦・自薦を問わず受け付けた。委員長宛てのメールでの申請とした。
- 2) 委員による審査結果を基に、委員長と幹事が候補者を決定し、委員の意見聴取を経て部門長の了承後に学会へ提出。(委員長, 幹事, 他委員 8名)

2. 選考スケジュール

5月22日	委員会委員の委嘱
6月3日	候補推薦依頼の学会メール(1回目)(応募締切6月23日) (熱工学部門全会員に依頼)
6月29日	学会賞委員会委員に審査資料送付
7月14日	審査締切
7月26日	委員長・幹事で候補者(案)の決定
7月27日	委員に候補者(案)を送付。意見・異議受付
7月29日	意見締切
7月30日	部門長と候補者(案)について打合せ。熱工学部門からの推薦者決定
7月31日	審査結果の通知。被推薦者には最終資料を作成依頼
8月2日	最終資料(推薦書)を部門長に提出
8月3日	委員長よりJSME表彰部会へ全ての書類を発送

3. 選考結果

日本機械学会賞(論文)	推薦件数	4件	(応募 5件)
日本機械学会賞(技術)	推薦件数	1件	(応募 1件)
日本機械学会奨励賞(研究)	推薦件数	4件	(応募 5件)
日本機械学会奨励賞(技術)	推薦件数	0件	(応募 0件)
日本機械学会教育賞	推薦件数	0件	(応募 0件)
日本機械学会賞(技術功績)	推薦件数	0件	(応募 0件)

4. その他

- (1) 例年通り、応募件数は多くない状況が続いている。学術誌の中での日本機械学会論文集の位置付けが変化しているため、ここ数年は従来通りの推薦は困難となっている。
- (2) 委員の負担低減を目指して、評価コメントの記述を強制していない。
- (3) 申請書の具体的な提出手順を日本機械学会・学会表彰部門担当者と相談しておく必要がある。

年次大会委員会

委員長：小田 豊（関西大学）
幹事：網 健行（関西大学）

2018 年度年次大会

開催日時 : 2018 年 9 月 9 日（日）～9 月 12 日（水）
開催場所 : 関西大学千里山キャンパス（大阪府吹田市山手町 3-3-35）
キャッチフレーズ : 「多様化する社会・技術への機械技術者の挑戦」
大会テーマ : 「情報と機械の融合」, 「社会構造変化への対応」, 「革新技術への新展開」

1. オーガナイズドセッションのテーマ募集, 決定

熱工学部門共催オーガナイズドセッション（8 件） 参考 2017 年 7 件
（○：筆頭幹事部門）

J061 「電子機器の強度・信頼性評価と熱管理」

（○熱工学部門, 計算力学部門, 材料力学部門）

オーガナイザー：畠山 友行（富山県立大学）, 池田 徹（鹿児島大学）, 木下 貴博（富山県立大学）

J062 「分散型エネルギーとシステムの最適化」

（○熱工学部門, 動力エネルギーシステム部門, 計算力学部門, 環境工学部門）

オーガナイザー：小原 伸哉（北見工業大学）, 天野 嘉春（早稲田大学）, 千田 二郎（同志社大学）, 君島 真仁（芝浦工業大学）, 西村 颯（三重大学）, 田部 豊（北海道大学）, 佐々木 正信（東京電力エナジーパートナー(株)）

J031 「燃料電池・二次電池とナノ・マイクロ現象」

（材料力学部門, 流体工学部門, 熱工学部門, 計算力学部門, 動力エネルギーシステム部門, マイクロ・ナノ工学部門）

オーガナイザー：近久 武美（北海道大学）, 大島 伸行（北海道大学）, 花村 克悟（東京工業大学）, 鹿園 直毅（東京大学）, 徳増 崇（東北大学）, 橋田 俊之（東北大学）

J052 「乱流における運動量, 熱, 物質の輸送現象およびその応用」

（流体工学部門, 熱工学部門）

オーガナイザー：田川 正人（名古屋工業大学）, 加藤 健司（大阪市立大学）, 廣田 真史（三重大学）, 河原 源太（大阪大学）, 店橋 護（東京工業大学）

J053 「マイクロ・ナノスケールの熱流体現象」

（流体工学部門, 熱工学部門, マイクロ・ナノ工学部門）

オーガナイザー：米村 茂（東北大学）, 小原 拓（東北大学）, 山口 浩樹（名古屋大学）, 新美 智秀（名古屋大学）, 鈴木 雄二（東京大学）

J054 「熱・流れの先端可視化計測」

（流体工学部門, 動力エネルギーシステム部門, 熱工学部門, バイオエンジニアリング部門, エンジンシステム部門）

オーガナイザー：森 英男（九州大学）, 村井 祐一（北海道大学）, 小原 弘道（首都大学東京）, 石野 洋二郎（名古屋工業大学）, 武居 昌宏（千葉大学）

J181 「交通・物流機械の自動運転」

(交通・物流部門, 機械力学・計測制御部門, 技術と社会部門, 機械材料・材料加工部門, 流体工学部門, 産業・化学機械と安全部門, 設計工学・システム部門, 法工学専門会議, ロボティクス・メカトロニクス部門, 熱工学部門, スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス部門, 生産加工・工作機械部門)

オーガナイザー: 高田 博 (東京理科大学), 中野 公彦 (東京大学), 西村 秀和 (慶應義塾大学), 高田 一 (横浜国立大学), 綿貫 啓一 (埼玉大学)

J241 「医工学テクノロジーによる医療福祉機器開発」

(医工学テクノロジー推進会議, 機械力学・計測制御部門, 流体工学部門, 計算力学部門, バイオエンジニアリング部門, ロボティクス・メカトロニクス部門, 情報・知能・精密機器部門, 材料力学部門, 熱工学部門, マイクロ・ナノ工学部門, 機素潤滑設計部門)

オーガナイザー: 高木 周 (東京大学), 陳 猷 (山口大学), 白石 俊彦 (横浜国立大学), 葭仲 潔 (産業技術総合研究所)

2. 部門同好会の開催

計算力学部門, 材料力学部門, 動力エネルギーシステム部門, 流体工学部門との5部門合同開催にて実施予定.

日時: 2018年9月10日(月)

場所: 関西大学千里山キャンパス内の生協食堂など

参加費: 4000円程度(予定)

環太平洋熱工学会議委員会

委員長： 店橋 護 (東京工業大学)
幹事： 深潟 康二 (慶応義塾大学)

1. 日米韓の co-chair の確定について

米国 ASTFE 側からの co-chair の選出が完了した。韓国側は暫定であるが、

JSME: Prof. Mamoru Tanahashi, Tokyo Institute of Technology

KSME: Prof. Yongchan Kim, Korea University (proxy)

ASTFE: Prof. Sumanta Acharya, Illinois Institute of Technology

の3名を共同議長して The Second Pacific Rim Thermal Engineering Conference: PRTEC2019 の準備を進めることとなった。なお、Secretary General は

JSME: Prof. Koji Fukagata, Keio University

とし、今後必要があれば、米国側、韓国側からも Secretary General を選出する。

2. 米国及び韓国側との交渉状況について

韓国側とは、日韓熱流体会議にて流体工学部門と合同で開催される future KSME-JSME conferences に関する会議 (2017年10月28日開催) にて、今後の運営について意見交換を行う予定であったが、台風のため当該会議が中止となったため、第1回環太平洋熱工学会議韓国側共同議長及び第2回同会議韓国側暫定共同議長等と個別に意見交換を行った。その結果、下記の開催期間及び会場にて第2回環太平洋熱工学会議を開催することで合意を得た。

米国側とは、2018年3月に開催された ASTFE 主催の第3回熱流体工学会議 (米国・フロリダ州フォートローダーデール市にて開催) に参加し、ASTFE 会長、第1回環太平洋熱工学会議米国側共同議長及び第2回同会議米国側共同議長と意見交換を行った。日本側は店橋、深潟に加えてオブザーバーとして東京農工大学の岩本薫教授が参加した。その結果、開催期間及び開催地に関して合意を得るとともに、MOU の締結や会議運営方法等に関して今後検討を進めることで一致した。MOU に関しては、第1回環太平洋熱工学会議の準備段階で一旦締結された MOU (JSME 主催に急遽変更となったため破棄された) を参考に来年度の早い時期に締結することで合意した。

開催期間：2019年12月13日(金)～12月17日(火)

- ・12月13日(金) レジストレーション, ウェルカム・レセプション
- ・12月16日(月) バンケット

(通常ならば、12月13日日本発、13日ハワイ着、18日ハワイ発、19日日本着)

会場候補：米国ハワイ州マウイ島 ハイアット リージェンシー マウイ リゾート&スパ

- ・講演会場：10室以上
- ・会議レート宿泊費：税込200ドル/日+ポーター代11.50ドル(+TAX)
- ・リゾート費 (通常税別30ドル/日)：無料
- ・ブロック可能数：250室/日 (12月14日～17日)
- ・講演会場費：上記宿泊数+飲食120,000ドルで無料

3. 広報活動について

会期と開催地のみについては First announcement として日韓熱流体会議にて配布を行った。また、上述の韓国側、米国側との協議結果を踏まえて、国際伝熱会議等の国内外の会議にて広報活動を行うこととした。また、3カ国間で合意が取れたことから早急に HP を立ち上げることにした。

JSME-KSME 合同会議委員会

丸田 薫（東北大学, TFEC9 Vice Chair）
深淵 康二（慶応義塾大学, TFEC9 Secretary General）
中村 寿（東北大学）

第9回日韓熱流体工学会議（TFEC9, 2017年10/27-30, 沖縄）について

概要

10月28日に台風が沖縄本島を直撃, このため10月27日のReceptionは予定通り開催も翌28日は会場（沖縄国際会議場）閉鎖, 公共交通機関（バス含む）運行中止. 会議開始は延長され, 10月29日および10月30日の二日間に会期を変更して実施.

(1) 最終発表数

- 最終発表数: 540件（台風のため未到着が10~20件あったと推定, 公式には全員発表扱い）

(2) Registration

- 参加登録者 751名（うち事前登録 729名, 当日登録 22名）
 - Reception 参加者約 300名, Banquet 参加者約 550名.
- 参考: 過去のデータ
 - 第8回（2012年, インチョン）: 参加者数 623名（日本 295, 韓国 305, 他国 23）
 - 第7回（2008年, 札幌）: 参加者数 690名（日本 418, 韓国 248, 他国 24）
 - 第6回（2005年, チェジュ）: 参加者数 693名（日本 374, 韓国 306, 他国 13）

(3) 招待講演

- Sang Woo Joo 教授（嶺南大学校）, 福西 祐 教授（東北大学）, 高田 保之 教授（九州大学）
- Hyung Hee Cho 教授（延世大学校）は台風のため到着できず.

(4) 表彰関係

- 表彰式: 第2日目（10/29）バンケット前に実施. 詳細はニュースレターのNo. 83（2017年12月号）に掲載の表彰委員会資料を参照ください.

(5) その他

- 日韓関係の一連会議の関係者および各部門長での会期中の協議は中止. しかし次回は韓国側の流体工学部門が主幹事として開催することを合意.
- JSME TED Newsletter No.84 に, 開催報告を掲載.

JTST 委員会

委員長： 山田 昇（長岡技術科学大学）
幹事： 櫻井 篤（新潟大学）

1. 掲載状況（2018年3月1日現在）

Vol. 1,	No. 1 (pp. 1~41) :	4 件
	No. 2 (pp. 42~148) :	9 件
Vol. 2,	No. 1 (pp. 1~133) :	12 件
	No. 2 (pp. 134~300) :	15 件
Vol. 3,	No. 1 (pp. 1~166) :	16 件
	(2007 日米熱工学会議特別号: Guest Editor=花村 克悟 (東京工業大学))	
	No. 2 (pp. 167~380) :	17 件
	No. 3 (pp. 381~551) :	15 件
Vol. 4,	No. 1 (pp. 1~201) :	17 件
	No. 2 (pp. 202~323) :	11 件
	No. 3 (pp. 202~436) :	14 件
	(第7回日韓熱流体工学会議特別号: Guest Editor=近久 武美 (北海道大学))	
	No. 4 (pp. 437~517) :	8 件
	(第2回国際伝熱フォーラム特別号: Guest Editor=中別府 修 (明治大学))	
Vol. 5,	No. 1 (pp. 1~188) :	15 件
	No. 2 (pp. 189~341) :	11 件
Vol. 6,	No. 1 (pp. 1~202) :	17 件
	No. 2 (pp. 203~322) :	12 件 (Preface を含む)
	(第7回国際流体力学会議特別号: Guest Editor=圓山 重直, 小原 拓(東北大学))	
	No. 3 (pp. 323~485) :	13 件
Vol. 7,	No. 1 (pp. 1~349) :	27 件
	(うち 10 件は第3回アジア計算熱流体シンポジウムからのセレクトドペーパー: Guest Editor=須賀 一彦 (大阪府立大学), 芝原 正彦 (大阪大学))	
	No. 2 (pp. 350~404) :	6 件 (Preface を含む)
	(第8回国際流体力学会議特別号: Guest Editor=圓山 重直, 小原 拓(東北大学))	
	No. 3 (pp. 405~496) :	9 件
	(第4回マイクロスケール熱流体国際会議特別号: Guest Editor=高橋 厚史 (九州大学), 鹿園 直毅 (東京大学))	
	No. 4 (pp. 497~766) :	19 件
Vol. 8,	No. 1 (pp. 1~335) :	23 件
	No. 2 (pp. 336~447) :	10 件 (Preface を含む)
	(第9回国際流体力学会議特別号: Guest Editor=圓山 重直, 小原 拓(東北大学))	
	No. 3 (pp. 448~612) :	12 件
Vol. 9,	No. 1 (JTST1~5) :	5 件
	No. 2 (JTST6~15) :	10 件
Vol. 10,	No. 1 (JTST1~20) :	20 件 (2 件の Review Paper を含む)
	No. 2 (JTST21~28) :	8 件
Vol. 11,	No. 1 (JTST1~19) :	19 件 (2 件の Review Paper を含む)
	No. 2 (JTST20~33) :	14 件
	No. 3 (JTST34~49) :	16 件 (Preface を含む)

(First Pacific Rim Thermal Engineering Conference 特集号 : Guest Editor=須賀 一彦
(大阪府立大学))

Vol. 12, No. 1 (JTST1~15) : 15 件 (1 件の Review Paper を含む)
No. 2 (JTST16~38) : 23 件
Vol. 13, No. 1 (JTST1~4) : 4 件

2. 編集委員会

Editor-in-Chief : 山田 昇 (長岡技術科学大学)

Editors : 浅野 等 (神戸大学, 日本伝熱学会推薦), 加藤 健司 (大阪市立大学), 櫻井 篤 (新潟大学), 大宮司 啓文 (東京大学), 高橋 周平 (岐阜大学), 田川 正人 (名古屋工業大学), 坪井 伸幸 (九州工業大学), 西岡 牧人 (筑波大学)

Advisory Board : 高田 保之 (九州大学), 佐藤 勲 (東京工業大学), 門脇 敏 (長岡技術科学大学)

3. 第 95 期特記事項

・ 投稿数について

2016 年の Impact Factor が 0.791 となり, 投稿数が増えている. 2017 年の投稿数は 143 件 (うち海外 113 件) で, 不採択率は 68.9% (海外不採択率 82.0%, 国内不採択率 28.2%). リジェクト作業に労力を費やしている.

・ Editor について

今期で任期が終了する Editor の後任を人選した. 必要に応じて補強を行う.

・ Review Paper について

ジャーナル活性化の一環として, 熱工学分野の第一人者に Review Paper をご執筆いただき, 年間 2~3 編の掲載を目指している (掲載料は熱工学部門が負担). 今期は 1 編を依頼済みだったが, 掲載は 4 月になる予定.

・ KPI について

国際的価値向上のための具体的なアクションプランの作成とその実施を求められており, 雑誌の特徴にあった KPI を決める必要がある.

・ 特集号について

The 9th JSME-KSME Thermal and Fluids Engineering Conference (TFEC9) の特集号を予定している (担当 : 鈴木 雄二 (東京大学)).

年鑑委員会

委員長 白樫 了 (東京大学)
幹事 岡島 淳之介 (東北大学)

2018年8月に電子版にて公開予定の「機械工学年鑑」の執筆者を2017年4月に以下のとおり決定し、2018年2月9日付けで学会の担当者大黒氏より執筆者に正式な執筆依頼と執筆要項、原稿テンプレートが執筆者に送付された。原稿締切日は2018年4月9日であり、2018年6月中旬に原稿の査読を終了する予定である。

2018年「機械工学年鑑」 執筆者リスト

章節項	名称	内容	割当頁	執筆者氏名	勤務先名	所属
委員長	/	査読		白樫 了	東京大学	生産技術研究所
幹事		査読		岡島 淳之介	東北大学	流体科学研究所
8.1.1	伝熱 および 熱力学	概説	2000字程度	村田 章	東京農工大学	大学院 工学府
8.1.2		熱物性	2000字程度	山口 朝彦	長崎大学	大学院工学研究科
8.1.3		伝熱	2000字程度	長野 方星	名古屋大学	大学院工学研究科
8.1.4		熱交換器	2000字程度	河野 正道	九州大学	大学院工学研究院
8.2.1	燃焼 および 燃焼 技術	燃焼	3000字程度	川那辺 洋	京都大学	大学院エネルギー科学研究科
8.2.2		燃焼技術・燃料	3000字程度	田中 淳弥	工学院大学	工学部

出版委員会

委員長 藏田 耕作 (九州大学)
幹事 仮屋 圭史 (佐賀大学)

【委員会構成】

委員長 藏田 耕作 (九州大学), 幹事 仮屋 圭史 (佐賀大学)
委員 下栗 大右 (広島大学), 濱本 芳徳 (九州大学)

【第 95 期活動報告】

1. 熱工学ギャラリーの今後に関して総務委員会 (2月2日開催) に意見を求めた結果, 以下のよう
な方針を得た.
 - (1) 次回の熱工学コンファレンス (10/20-21, 富山) で同様の動画発表セッションを企画する.
 - (2) 同時に, ホームページ「熱工学ギャラリー」の宣伝と動画収集を行う.
 - (3) さらに, インセンティブを与えるために優秀動画の表彰を行う.
2. 出版委員会においてメール会議を行い, オーガナイズド・セッションの企画・実施へ向けて準
備することに同意を得た. 企画内容は別紙の通り.
3. 企画内容について熱工学コンファレンス実行委員会に相談し, 実行委員長よりご快諾を得た.

6年ぶりに熱工学ギャラリーコレクションが復活します

熱工学コンファレンス 2018 (富山・10/20~21) オーガナイズドセッション
熱工学コレクション (熱コレ) 2018 開催

熱工学コンファレンス 2011 (静岡), 2012 (熊本) で開催された OS「熱工学ギャラリーコレクション」をご記憶でしょうか? 研究の成果として, あるいは教育用に独自に作成された動画を披露するセッションで, 合計 28 件の発表がありました。ここで発表された動画の一部を熱工学部門ホームページ内の「熱工学ギャラリー」で公表すべく準備中ですが, まだまだコンテンツが足りません。

そこで再び, この OS を企画させていただきます。「熱工学コレクション (熱コレ)」という新しい名称でリブートするだけでなく, みなさまの投票によって印象的な作品を決めて表彰いたします。ご希望に応じてすべての作品をホームページ「熱工学ギャラリー」でご紹介し, 特に受賞作品は大きく取り上げます。みなさまからのご応募をお待ちしています。

**投票にもと
 づき, 印象的な
 動画を表彰し
 ます!**

募集対象

熱工学に関連するものであれば分野や対象を問わず, 既報の成果に関するものでも結構です。また, 今回から表彰を行いますので, 熱工学コンファレンス 2011 および 2012 で発表された動画の再発表も受け付けます。

申込方法

- (1) 熱工学コンファレンス 2018 の講演申込みページにアクセス。
- (2) 必要事項を記入するとともに「OS 熱工学コレクション 2018」を選択。
- (3) 発表要旨には動画の簡単な説明を記述してください。

資料提出

予稿集の提出は不要です。後日, メールで送付される例にならって PowerPoint ファイル (1 ページ) を作成して提出してください。

発表方法

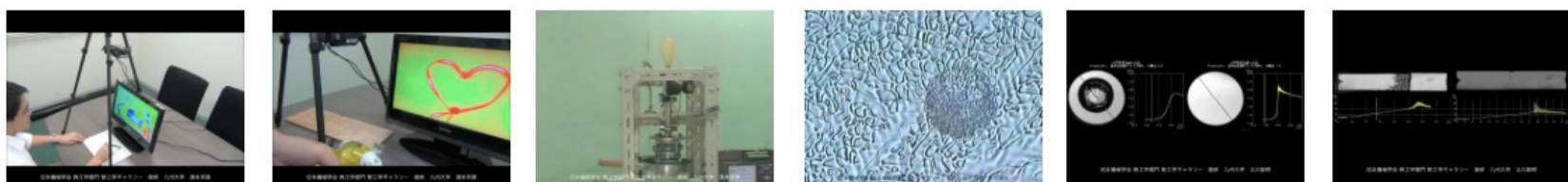
ご自身の PC で発表。発表時間は動画の紹介を含み一人 5 分以内 (予定) です。ホームページ作成に必要なテキスト起こしのために, 発表を録画させていただきます。

発表後

ホームページ「熱工学ギャラリー」への掲載に同意いただけるのであれば, 動画ファイルのコピーを座長にお渡しください。

問合せ先

出版委員会 委員長 藏田耕作 (九州大学) kurata@mech.kyushu-u.ac.jp



講習会委員会

委員長 畠山 友行 (富山県立大学)
幹事 福江 高志 (岩手大学)

1. 今期の活動計画

・部門講習会

他組織の関連イベントを考慮して2018年9月開催を予定している。『伝熱工学資料』を教材とした熱設計』引き続き行う。2017年の参加者が低迷したとの報告があるため、同一内容で開催を継続し、一時的な参加者の低迷か、継続しての低迷になるのかを判断する。学生の参加も見込みながら、適切な参加費を検討する。

(参考) 過去5年間の講習会企画

企画期	テーマ名	開催日時 (企画期次年に開催)	開催場所	参加者数(学校(学生)/企業/その他)
94期 (2016)	「伝熱工学資料(改訂第5版)」の内容を教材にした熱設計の基礎と応用	9/28(木)10:00-16:25 9/29(金)9:00-17:05	機械学会会議室	94期資料の通り
93期 (2015)	「伝熱工学資料(改訂第5版)」の内容を教材にした熱設計の基礎と応用	9/29(木)10:00-16:25 9/30(金)9:00-17:05	機械学会会議室	38名
92期 (2014)	「伝熱工学資料(改訂第5版)」の内容を教材にした熱設計の基礎と応用	9/24(木)10:00-16:45 9/25(金)9:00-16:45	東京大学 山上会館	39名 (7(5)/31/1)
91期 (2013)	「伝熱工学資料(改訂第5版)」の内容を教材にした熱設計の基礎と応用	9/4(木)9:50-16:50 9/5(金)9:00-17:00	東京理科大学 森戸記念館	53名 (16(3)/36/1)
90期 (2012)	「伝熱工学資料(改訂第5版)」の内容を教材にした熱設計の基礎と応用	9/19(木)9:50-16:50 9/20(金)9:00-17:00	機械学会会議室	52名

・ワークショップ：2016年は熱工学コンファレンス会期中に、熱工学ワークショップという形で、産業界の最新の伝熱研究や産業界からの要望を、3名の講師に講演してもらうスタイルで行った。2018年もコンファレンス会期中(2018年10月20日, 21日)に同様な形での開催とする。すでに、熱工学コンファレンス実行委員会からの承認を得ている。

(参考) 過去5年間のプレコンファレンスセミナー・熱工学ワークショップ企画

企画期	テーマ名	開催日時 (企画期次年に開催)	開催場所	参加者数(学校(学生)/企業/その他)(有料参加者)
94期 (2016)	熱工学コンファレンスの開催がないためセミナーの開催もなし			
93期 (2015)	産業界における「熱マネジメント」	2016/10/22(土)	愛媛大学	90名
92期 (2014)	再生可能エネルギー ～バイオマスを中心に～(案)	2015/10/23(金)-24(土)	関西大学 高岳館	23名 (22(7)/1/0)(20)
91期 (2013)	「地球・環境・熱」	2014/11/7(金)-8(土)	ホテルシーサイド江戸川	20名 (19(6)/0/1)(17)
90期 (2012)	第1部 “震災復興に向けた熱工学の貢献” 第2部 “これからの人材育成 - 企業・公的機関・大学の立場から - ”	2013/10/17(木)-18(金)	アソベの森いわき荘	29名 (22(6)/4/3)(24)

2. 検討課題

・講習会企画

これまでと同一内容で行い、参加者の増減の傾向を判断する。昨年に引き続き参加者が少ないようであれば、次回に向けた対応を考える。

・ワークショップ

94期の講習会委員、総務委員会等と情報交換を行い、通常表に出ない情報を提供してくれそうな講師の選定を進める。

熱工学コンファレンス 2018 実行委員会

委員長 平澤 良男 (富山大学)
幹事 浅岡 龍徳 (信州大学)

1. 第2回実行委員会の開催

日時：2018年2月21日(水) 16:00～18:00

場所：富山大学工学部機械知能システム工学科会議室

2. 準備状況

■ 実行委員名簿

委員長：平澤 良男 (富山大学) 幹事：浅岡 龍徳 (信州大学)

委員：寺西 恒宣 (富山高等専門学校), 中川 慎二 (富山県大学), 寺岡 喜和 (金沢大学),
 畠山 友行 (富山県大学)

■ 講演会開催日時・会場

開催日：2018年10月20日(土), 21日(日)

会場：富山大学 五福キャンパス (富山市五福 3190)

■ 熱工学ワークショップ

開催日：2018年10月20日(土)

講習会委員会と協力して前回と同様の方法での実施を予定する。参加者 100名程度を想定。

■ 懇親会

開催日：2018年10月20日(土)

会場：富山県民会館 8階 富山電気ビルレストラン県民会館店

■ 特別講演

講師を検討中。

■ 参加費等

参加費等の案を以下とし、総務委員会の意見をうかがう。

参加登録費 (講演論文集 (電子媒体) を含む) :

会員 (事前) 9,000円, (当日) 12,000円

非会員 (事前) 12,000円, (当日) 15,000円

学生 (事前) 4,000円, (当日) 6,000円

懇親会会費 :

一般 (事前) 6,000円, (当日) 8,000円

学生 (事前) 4,000円, (当日) 6,000円

会計業務を業者に委託し、クレジットカード支払いに対応する。

■ ホームページの開設

12/14 にホームページを開設。URL は <https://www.jsme.or.jp/conference/tedconf18/>

■ オーガナイズドセッション (OS) の募集開始

3/5 に部門登録会員宛に ML 配信し、OS の企画募集を開始。

3月末に前回のオーガナイザー宛に個別に依頼予定。

■ OS 熱工学コレクション (熱コレ)

出版委員会委員から協力依頼があり，協力して準備を進める。

■ 会告

会誌の WEB 版 4 月号に掲載予定。

3. 今後の予定

- ・ 第 3 回実行委員会を 7 月下旬に予定。プログラムの検討。
- ・ 第 4 回実行委員会を 9 月下旬～10 月初旬に予定。収支予算・準備状況の確認